

研究課題名	<p>2017-039</p> <p>大腸がん術後補助療法における CapeOX 療法の完遂率に関する調査</p>
実施責任者	<p>名古屋掖済会病院 薬剤部 薬剤師 高取裕司</p>
研究の概要	<p>大腸がんの手術後の補助療法として行われる CapeOX 療法は、経口抗がん剤であるカペシタピンの適切な用量調節が無病生存率に影響すると言われてしています。</p> <p>CapeOX 療法の完遂率に関する調査を行って、非完遂の要因を明らかにすることを目的とし、当院の電子カルテシステムより情報を収集して検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p>2014年 7月 1日 より</p> <p>2016年 6月 30日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に、当院にて初発大腸がんの術後に補助化学療法として CapeOX 療法を受けて、終了されている患者様が対象となります。</p>